

獨協大学ニュース

DOKKYO UNIVERSITY
NEWS

1

2022

VOL.475



特集

57th 雄飛祭

学生記者企画

5

7

t

h

雄

飛

祭

ABORN



雄飛ホールでK-popを中心に計21曲のダンスを披露した。今年、BTS、BLACKPINK、IZ*ONE、Brave Girlsなど世界的に大ヒットしたアーティストの曲が盛りだくさんで、K-popファンにはたまらない、非常に楽しく見ごたえのある公演となった。

New Folk Union



秋晴れの下、中庭を音楽で彩ったツインヴオーカルが印象的な『放課後フリタイルタイム』。ポップなナンバーで場を盛り上げた。後半は一転してノスタルジックなナンバーも披露し、さわやかにステージを後にした。

お笑いサークル
ルナジリオ



ルナジリオによるお笑いライブが行われ、モノマネや漫才が披露された。雄飛ホールには、学生や地域の方々合わせて約60人が観覧に訪れた。観客を巻き込む場面も見られ、会場に温かい拍手が沸き起った。

茶華道部



茶華道部はE204教室を使い、古流の生け花の展示を行った。菊などの秋の花を組み合わせ、個性に富んだ作者の心を和ませた。会場は非常に落ち着いた雰囲気、来場



11月5日(金)・6日(土)に2年ぶり57回目となる雄飛祭が開催された。新型コロナウイルス感染症対策を万全にして行われた今回。

爽やかな秋晴れに恵まれ、本学学生をはじめ、近隣の方々などが、ようやく開催できた雄飛祭を大いに楽しんだ。

「音楽×書道」で観客をその世界観に引き寄せる演技は
圧巻だった。想いが込められた躍動感溢れる文字を間近
で感じることができたのはこしかない。



書道研究会

手形アート

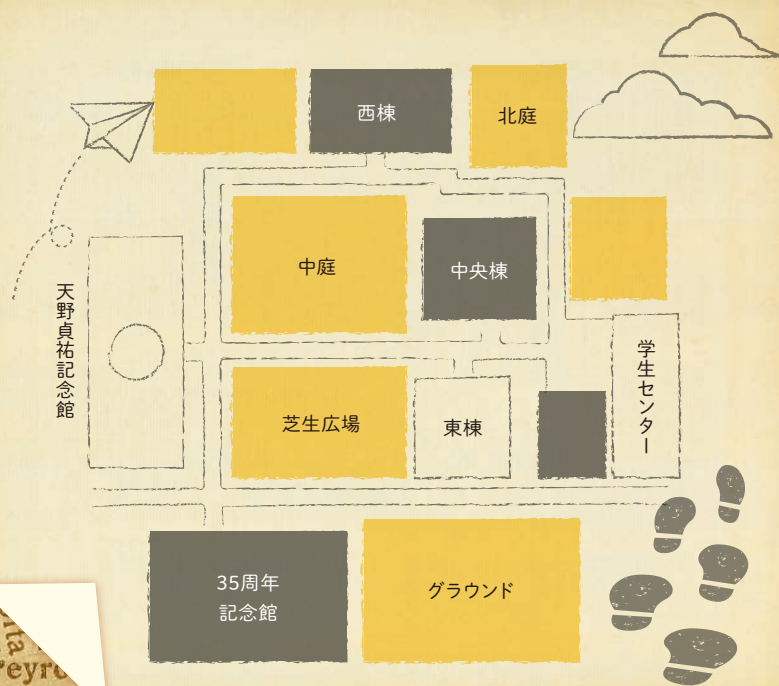
手形アートは「コロナを乗り越えたら何をやりたいか」と、
自分の手形と一緒に紙に書いて、木をかたどった大きな紙
に貼るというもの。カラフルで美しいアートとなっていた。
旅行に行きたいなど、皆それぞれの想いを寄せていた。



和田ゼミ



剣、花、犬など様々な形のバルーンアートを学生が手際よ
く作り、子ども連れをはじめとする来場者に手渡した。花
のバルーンを手にした人たちが会場内に多く見られた。パ
ルーンのやり取りをする際の学生の笑顔が印象的だった。



獨協秋まつり

中庭にて縁日「獨協秋まつり」が行われた。「ダーツ」、「当
てゲーム」、「間違い探し」、「水中コイン落とし」の4つの
ゲームを行い、すべてクリアすると景品のお菓子が貰え
る。子供から大人まで幅広く楽しめるイベントとなった。



獨協かるた会

東棟の2階では、獨協かるた会による、かるたの体験会が
行われた。参加者は、札を覚えるのに苦戦しながらも、楽
しそうにかるたを行っていた。かるたをはらう様子は迫力
があり、音をたたく音が静かな教室内に響きわたった。



編集後記

今年度の雄飛祭は新型コロナウイルスの影響により、例年とは違った形で行われました。模擬店やイベント数を限定しての開催となりましたが、時間を忘れさせてくれる、とても楽しい学園祭となりました。お忙しい中、私たちの取材にご協力頂いた皆さん、どうもありがとうございました！



学生記者一同

2021年司法試験 合格体験報告会を開催

10月3日、司法試験合格体験報告会をZoomにて開催し、本学法科大学院修了生で、2021年司法試験に合格した竹下健太郎さんと真中愛さんが出席した。報告会では、合格者2名の合格に至るまでの学習法や試験当日までの対策、試験当日に意識した点などが報告され、質疑が行われた。

真中さんは出産・育児を経験する中で合格したことから、女性が法曹を目指すうえでの不安や苦勞、それをどう克服したかについて質問があった。真中さんは、「不安はもちろんあったが、法曹を目指す気持ちを確かめることで克服するしかない。育児や家事と勉強とで優先順位を決めて割り切ってやることで乗り越えた」と述べた。

なお、本学法科大学院修了生が終了資格で受験する司法試験は今年度で最後となった。本学法科大学院修了の資格での合格者は、延べ59名。合格体験報告会の資料は、「合格体験記」として11月より大学院事務室で配布している。



10月27日にZoomにて司法試験合格者祝賀会が開催された

2021年度父母懇談会開催

10月23日、父母懇談会を本学キャンパスでの対面とZoom利用のオンラインの併用で開催した。

午前中はキャンパス見学時間とし、参加者は学生スタッフのガイドによるツアーにてキャンパスを体感した。1年生・2年生の父母および保証人は入学後初めて来学する機会となり、好評であった。また、事前予約した父母は、対面にて個別に相談の機会を得た。

午後1時から全体会では、山路朝彦学長（父母の会名誉会長）が大学の近況とコロナ対策について報告し、岡田圭子キャリアセンター所長はキャリアセンターの役割を紹介した。

午後2時15分からは学部学科別懇談会が行われ、来学とオンライン参加を合わせて352名が参加し、所属する学部学科の教員が、事前の質問事項を踏まえ、学習面・学生生活の様子や留学・就職情報について説明した。また翌週からは、日本経済新聞社の山野茂樹氏による就職に関する講演と、内定取得学生の就職活動経験談をオンデマンド配信した。



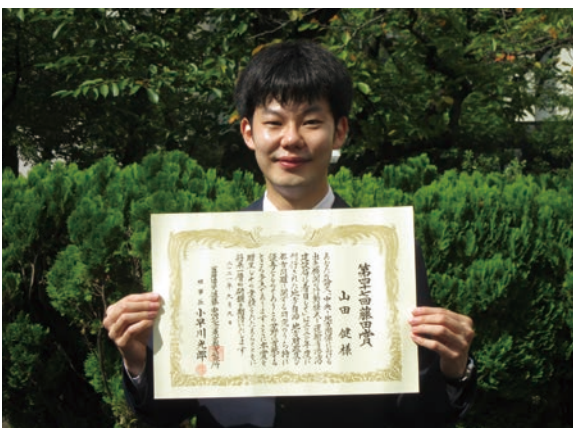
外国語学部英語学科（西棟101教室）の懇談会の様子

第47回藤田賞 山田健特任助手が受賞

山田健法律学科特任助手が第47回「藤田賞」を受賞した。今回受賞対象となったのは、同助手執筆の論文「中央-地方関係における出先機関の行動様式—運輸省港湾建設局に着目して」。9月9日、市政会館にて授賞式が執り行われた。

藤田賞は、地方財政学の権威、故藤田武夫立教大学名誉教授、故佐藤進東京大学教授から、公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所（旧 東京市政調査会）に寄贈された基金により、地方自治、地方財政および都市問題に関する研究を奨励するため、1974（昭和49）年に設けられた。同賞は、地方行財政に関する分野では、歴史ある賞として認知されている。

参考・公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所ホームページ



歴史ある賞を受賞した山田特任助手

大邱カトリック大学(韓国)と オンラインによる交流授業を実施

韓国の協定校、大邱(テグ)カトリック大学(DCU)と本学が11月1日、16日、24日にオンライン交流授業を開催した。この交流授業は国際交流センターからの提案をDCUが受けて実現したもの。全3回の交流会にはDCUの日本語日本文学科生延べ54名と一般募集で集まった本学学生延べ45名が参加し、日本語と韓国語を交じえた意見交換やフリートーク等を楽しんだ。オンライン授業が可能になったことから、国際交流センターが主催する日韓の学生交流としては過去最多の参加者数となった。

学生からは「イメージや一般的な情報で韓国と日本の違いを認識していたが、実際に話を聞くことで、現実味が増して衝撃を受けた。文字で得る情報より、人から直接聞いた情報の方がより伝わるのだと感じた」「コロナで海外に行けなくなり交流することができずにいたが、参加して互いに交流する楽しさを思い出すことができた」などの感想が寄せられた。



福島県田村市と連携協力協定を締結

12月14日、本学と福島県田村市は、「持続可能なまちづくり」に向けた活動や、経済・社会・環境・外国語に関する研究・教育を推進していくための連携協力協定を締結した。本協定は、本学が採択された、福島イノベーション・コースト構想推進機構の「大学等の『復興知』を活用した人材育成基盤構築事業」の実施にあたり、福島県田村市で「環境に配慮した持続可能なまちづくり」の仕組みを構築し、その取り組みについて情報発信と国際交流を進めていく創造事業を推進するために締結されたもの。本学で行われた締結式では、田村市から白石高司市長らが、本学からは、山路朝彦学長、岡垣知子副学長、本事業責任者である米山昌幸経済学部国際環境経済学科教授、そして松枝秀和同学科教授が出席した。なお、事業は11月から本格稼働し、田村市の地域資源と地域課題を把握するとともに田村市観光サイト等の多言語化を進めるために、活動に賛同した本学教員と在学生在が現地に赴き、観光資源・地域資源に着目した現地調査等を行っている。



国際環境経済学科・環境共生研究所共催 Earth Week Dokkyo 2021 ~Winter~ 開催

12月6日から11日まで、学内各所で獨協大学環境週間「Earth Week Dokkyo 2021 ~Winter~」が開催された。前回に引き続き新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、オンラインイベントと対面イベントを併用しての開催となった。期間中は「～環境と開発を両立させて、持続可能な社会を創る～」というテーマのもと、多くのイベントが行われた。

対面でのイベントでは、学生団体From us to earth による「蜜蜂ラップづくり」やEarth Week Dokkyo実行委員会と米山昌幸ゼミによる卵の殻と廃油をリユースした「エッグキャンドルナイト」などが実施された。また、オンラインイベントでは学生団体THE Me主催の「みんなで話そうジェンダーのこと」やPIR Dokkyoによる「日本で見過ごされる人権～入管医療体制～」など学生が地球の問題について楽しく学べるイベントを多数実施した。



中庭で輝いたエッグキャンドルの灯

2021年度「子ども大学そうか 第4回」開催

10月16日、創立50周年記念館(西棟)で「子ども大学そうか」の4回目の授業が行われ、草加市内の小学生32名が参加した。

今回は大坪史治経営学科准教授による講義「大人になったらなにになりたい?自分に合う会社を選んでみよう!」が行われた。

授業冒頭、「将来なりたい職業は?」という質問に対して、「バドミントン選手」や「一級建築士」など様々な声が上がった。その後、大坪准教授手作りのおもちゃのお金を使い、本屋の経営を例にとりて会社のお金の流れを学んだ。また、投資や借金の考え方を学びながら、それぞれの将来の会社選びの基準を作っていた。

大坪ゼミナールの学生アシスタントの力を借りながら、子ども達がグループで数字を使って熱心に議論する様子が印象的だった。

熱心な子ども達に応える
大坪准教授



福岡県と就職支援連携協定を締結

本学と福岡県は、相互に連携・協力することを目的として、UIJターンに関する就職支援協定を締結した。本学は、この協定に基づき、福岡県へのUIJターン就職を希望する学生に対して合同企業説明会・地元企業の求人などの情報提供を行い、福岡県への就職を促進していく。

なお、埼玉県内の大学が福岡県と就職支援協定を締結するのは初となる。また、本学が就職支援協定を結ぶのは福岡県で10県目となる。

【主な連携・協力内容】

- (1) 学生に対する就職関連イベント、県内企業等の情報発信に関すること。
- (2) 大学が行う合同企業説明会、保護者向けの就職セミナー等の開催に関すること。
- (3) 福岡県が行う学生向け就職支援サービス等への登録呼びかけに関すること。
- (4) 学生の福岡県へのUIJターン就職に関する情報及び実績把握に係る調査等に関すること。
- (5) その他、学生の福岡県へのUIJターン就職促進に関すること。

第5回図書館講演会を開催

10月27日、第5回図書館講演会が開催された。対面での実施は2年ぶりとなり、学生・教職員合わせて約50名が参加した。今回は、原成吉英語学科教授が『なんでシンガーソングライターにノーベル賞?—ボブ・ディランのコトバの世界—』というテーマで講演した。

原教授は、著名な詩人たちの言葉を引用しながら、まずロックの歌詞と詩の違いや、詩と歌のルーツについて説明。その後、「ポエトリー・リーディング」や「ビート・ムーヴメント」といったアメリカ詩の伝統を例示しながら、ディランの「歌われる現代詩」の魅力について語った。曲を鑑賞する場面もあり、参加者はディランのコトバの世界に入り込んだかのように聞き入っていた。



第23回 全国高校生ドイツ語スピーチコンテストを開催

11月14日、外国語学部主催「第23回全国高校生ドイツ語スピーチコンテスト」がZoomウェビナーを利用しオンライン（ライブ配信型）で開催された。

当初は対面での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の全国的な蔓延状況を受け、急きょ開催方法をオンラインに変更して実施した。

当日は、応募総数206名のうち、予選を勝ち抜いた20名（第1部朗読部門7名、第2部プレゼンテーション部門8名、第3部フリースピーチ部門5名）が本選の舞台に臨んだ。

審査の結果、第1位の最優秀賞には、第1部からは堀内万菜さん（東京都・学習院女子高等科2年）が、第2部から関根ジンさん（埼玉県・伊奈学園総合高等学校3年）が、第3部からは三ツ橋慧さん（埼玉県・獨協埼玉高等学校2年）が選ばれた。



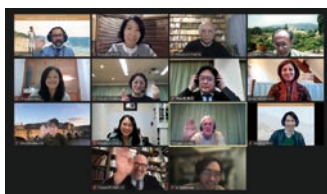
第32回獨協国際ナショナル・フォーラム 「アルペール・カミュ：生きることへの愛」開催

12月3日・4日、第32回獨協国際ナショナル・フォーラム「アルペール・カミュ：生きることへの愛」がオンラインにて開催され、100名以上の参加者が視聴した。コーディネーターは、根木昭英外国語学部フランス語学科専任講師が務めた。

本フォーラムでは、人間にとっての根源的価値である正義と自由を愛し、それを守り抜こうとしたアルペール・カミュの作品を通して、愛の作家としてのカミュ像にせまった。

海外（フランス、アメリカ、カナダ、台湾、韓国）からの講演者を含め、17名の研究者による講演・討論と本学学生による朗読が行われた。参加者からも活発な質疑があり、カミュの「生きることへの愛」についての議論を深めた。

また、本学図書館では、本フォーラムに関連した企画の展示を行った（天野記念館メインエントランス・展示スペース・11月17日～12月9日）。この展示では、代表的な著作『異邦人』（*L'Étranger*）、『ペスト』（*La Peste*）や当時の新聞記事など、本学図書館所蔵の資料や個人所蔵の資料から、カミュの思想やその受容の一端を紹介した。なお、本学図書館所蔵の資料については、一部を除いて利用が可能となっている。



フォーラムで講演・発表した研究者



カミュ作品の朗読を終えて



図書館前で行われた企画展示

第9回 全国高校生英語プレゼンテーションコンテストを開催

10月31日、外国語学部主催「第9回全国高校生英語プレゼンテーションコンテスト」がオンラインで開催された。当初10月17日の開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症リスク回避のため、本選日程を変更して初のオンライン実施となった。

当コンテストは、高校生が英語を使って自らの考えを発表する機会提供を目的に2013年より毎年継続し、今回で9回目。当日は、応募総数118名の予選を勝ち抜いた高校生7名がZoomに参加。各自が事前に録画・提出したプレゼンテーションを互いに視聴した。第1位の獨協大学学長賞には、和田優理香さん（茨城県・茗溪学園高等学校1年）が選ばれた。

本選結果は大学ホームページを参照。

www.dokkyo.ac.jp/about/outline/events/e_presentation/

2021年度ホームカミングデー 2011&2020卒業生の集い 開催

11月13日、天野貞祐記念館大講堂にて、「2021年度ホームカミングデー2011&2020卒業生の集い」を開催し、約200名が参加した。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で卒業式が中止となった2020年3月卒業生、東日本大震災の影響で卒業式が中止となった2011年3月卒業生を対象とし、不測の事態により節目となる卒業式が行われなかった卒業生に対し、卒業式に準じたホームカミングデーを実施した。

式典で、山路朝彦学長は「不測の事態の中で卒業していった皆さんを、今日お迎えすることができ、心から嬉しく、歓迎申し上げます。いかなる困難の中でも、冷静に整然と行動し、強い意志を持ち、思慮深く、隣人（となりびと）にやさしく、そして健康で幸せな人生を過ごされることを改めて願っています」と式辞を述べた。

また、卒業生代表として2020年3月当時の総代である中嶋悠人さん（20年律卒）と副総代の高倉万由子さん（20年総卒）が登壇し「大学の4年間、多くのことを教え、見守ってくださった先生方、学生生活を支えてくださった職員の皆様、そして私たちを育て、見守り続けている両親と家族に、心より感謝いたします。獨協大学が、一步一步確実に、このコロナ禍を乗り越え、ますます発展し、多くの優秀な学生を未来に向けて輩出されることを祈念して、卒業生代表挨拶とさせていただきます」と述べた。

卒業生をゲストに招いたトークイベントでは、映画「翔んで埼玉」、「ルパンの娘」など、数多くのヒット作品を手掛ける脚本家の徳永友一氏（01年律卒）と、同映画の監督である武内英樹氏の両名が登場した。映画やドラマの脚本づくりにまつわるさまざまな話の後、卒業生、在学生への励ましのメッセージをいただいた。

その後、学部ごとに教室に分かれて懇親会が行われ、参加者は恩師や友人との久しぶりの再会を楽しんでいる様子だった。



2021年度学友会四本部合同交代式開催

12月8日、学生センター雄飛ホールにて、2021年度学友会四本部合同交代式が執り行われた。この式典は、2021年12月より新たに学友会各本部の正副委員長となる学生たちに、学友会会長(学長)が役職を委嘱する節目の行事。

当日は、山路朝彦学友会会長をはじめとする大学教職員と学友会新役員の他、来賓として一般社団法人獨協大学同窓会から大西純一会長らが出席した。山路会長は挨拶で「先が見通せない状況ですが、皆さんを中心に学友会をより良いものにしていきましょう」と激励の言葉を送った。

その後、学友会新役員に対し、山路会長から委嘱状が手渡された。第58期学友会委員長の^{かい}大久保 魁さん(律2年)は「コロナ禍においても先輩方が活動を続け、消さずに残してくれた火を、今後大きく強くしていきたい」と意気込みを語った。

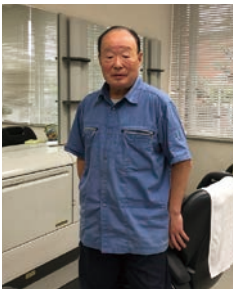


式典はZoomでも配信され、当日会場に来ることのできなかった学友会役員などが視聴した。

50年間ありがとう 獨協大学理容室が閉店

「どっこ」(獨協大学の床屋)の愛称で親しまれてきた35周年記念館1階の理容室が、2021年12月末で閉店した。

昭和46(1971)年の開業当初から50年もの間、お店に立ち続けた理容師の井上昭雄さんは「長い間獨協大学内で仕事をしてくて、学生との触れ合いが楽しかった。両親が獨協大学卒という学生から、父親もここに来店していたと聞いた時は驚いた」と語っていた。



2年ぶりに対面で開催 第57回雄飛祭

11月5日、6日の2日間、秋晴れの下、2年ぶりとなる第57回雄飛祭が開催された。今年は事前予約制、人数制限を行い、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期した。今回のテーマは「To Travel Is To Live」。雄飛祭を一つの旅ととらえ、日常を忘れて旅を楽しんで欲しいという思いを込めた。

雄飛祭実行委員長の^{こいつか}戀塚祐平さん(律3年)は開祭式で「このような社会情勢に関わらず、対面での開催を後押ししてくださった、本学学生をはじめ、教職員の皆様、関連企業の皆様に厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症対策のルールを守り、その上で最大限楽しんでいただきたいと思います」と述べた。ゼミの研究発表やクラブ・サークルのステージパフォーマンスのほか、ジェンダー等にこだわらず、魅力的な学生を選出する「グランツコンテスト」が新たに開催された。

詳細は2~3ページの雄飛祭特集を参照。



弓道部(女子)入替戦に勝利し1部リーグ昇格

体育会弓道部(女子)が、10月31日に行われた関東学生権秋期リーグ戦入替戦において埼玉大学に勝利した。弓道部はこれまで埼玉県、千葉県で構成される中関東ブロックの2部リーグに所属していたが、今回の勝利により1部リーグ昇格を果たした。

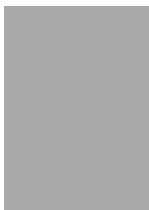


学友会 新役員一覧

第58期 学友会



委員長
大久保 魁
(おおくぼ かい)
(律2年)

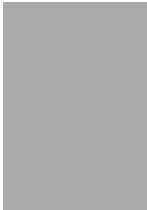


副委員長
富田 美月
(とみた みつき)
(仏2年)

第58期 文化会

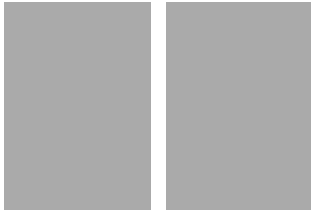


委員長
尼崎 真悠
(あまさき まゆ)
(独2年)



副委員長
重富 遥奈
(しげとみ はるな)
(独2年)

第58期 体育会



委員長
小谷野 悠希
(こやの はるき)
(英3年)

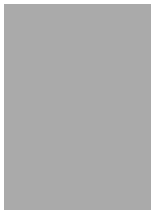


副委員長
山上 萌々葉
(やまがみ ももは)
(独3年)

第48期 愛好会



委員長
横山 翔馬
(よこやま しょうま)
(営2年)



副委員長
松原 光希
(まつばら こうき)
(律1年)

※会計監査団は次号でお知らせします。

大学入学共通テスト・一般入試実施に伴う入構制限**●大学入学共通テスト実施に伴う入構制限**

1月15日(土)・16日(日)は受験者・教職員および特別に許可された者以外は終日入構できません。1月15日(土)は、事務窓口を閉鎖します。1月14日(金)設営終了時から1月16日(日)の試験終了まで関係者以外構内への立ち入りを禁止します。
また、試験前日の1月14日(金)は設営作業のため試験室となる以下の教室へは、設営終了次第立ち入りを禁止します。

東棟:101、102、201、202、205、303、307の各教室

西棟:101、102、103、104、201、202、203、204、205、206、207の各教室

A棟:206、207の各教室

●一般入試期間中の入構制限および教室利用制限

・2・3科目(A方式)/外検+ 2月1日(火) 東棟・西棟・天野貞祐記念館
・2科目全学統一(B方式) 2月2日(水) 東棟・西棟・天野貞祐記念館
・2科目(C方式) 3月3日(木) 東棟・西棟

1月31日(月)設営終了時から2月2日(水)の試験終了まで関係者以外の構内への立ち入りを禁止します。

また、2月1日(火)・2月2日(水)は、事務窓口を閉鎖します。

3月2日(水)・3日(木)は試験場となる教室の貸出しは行いません。

また、試験場となる教室棟への立ち入りを原則禁止します。

**2021年度秋学期「学生による授業評価アンケート」
「学生による教育環境改善のためのアンケート」に
ご協力ください**

詳細はPorTall→「ダウンロードセンター」→「学生用フォルダ」→「授業評価(教育改善)アンケート」の資料を確認してください。

実施期間:2021年12月20日(月)~1月23日(日)

対象:全学生

回答方法:PorTall→「履修」タブ→

「授業評価(教育環境改善)アンケート回答・参照」から回答

所要時間:約30分

問い合わせ先:自己点検・評価室(6棟1階)

☎ 048-946-1824 または 048-951-2226

✉ jikotenken@stf.dokkyo.ac.jp

2022年度 学費について**<口座振替の方>**

	入学年度	2019年度以降	2018年度以前
春学期	口座振替日	4月12日	4月10日
	手続締切※	3月20日	—
秋学期	口座振替日	9月12日	9月10日
	手続締切	8月20日	—

口座振替日が金融機関休業日の場合は、翌営業日が振替日となります。

※下の■学費「Web口座振替受付サービス」のご案内をご覧ください。

<銀行振込の方>

	春学期	秋学期
振込用紙の発送	4月初旬	9月初旬
納入期限	4月30日	9月30日

※修学支援新制度対象者の学費納入方法については大学ホームページをご参照ください。

<https://www.dokkyo.ac.jp/about/openinfo/activity2/payment.html>

■学費「Web口座振替受付サービス」のご案内

このサービスは、ご自宅のパソコン等を使って、学費の納入方法を「<銀行振込>」から「<口座振替>」に変更するものです。これにより、銀行での振込の手間と手数料がなくなります。是非、この機会にご検討ください。

【Web口座振替受付サービスの概要】

<Web口座振替受付>

- ・Web画面によるオンライン手続(銀行届出印不要)
- ・口座振替日:春学期4月12日、秋学期9月12日
- ・3月20日までにお手続きいただければ春学期の学費から口座振替となります。
- ・手数料は大学負担となります。

**日頃の成果を発表****第9回経済学部プレゼンテーション・コンテスト開催**

11月24日、第9回経済学部プレゼンテーション・コンテストが、西棟101教室において開催され、24件の応募があった書類審査を通過した8グループがプレゼンテーションを行った。厳正な審査の結果、最優秀賞には堀江郁美(営)ゼミの「d-salon制作報告」が選出された。

そのほか、優秀賞には山森哲雄(済)ゼミの「コロナ禍における20代の自粛とリスク認知」と吉田翔平(済)ゼミの「著作権管理事業を対象とした市場独占化に関する研究」が、経済学部長奨励賞には鈴木淳(営)ゼミの「CAS冷凍を用いた新しい食品ロスショップ」が、アイデア賞には木原隆司(環)ゼミの「How to reduce outdoor excretion in India(インドの野外排泄が減少する方法)」が選出された。本選での各グループのプレゼンテーションは、日頃の活発な調査・研究活動の様子が窺えるものばかりだった。



*写真撮影時のみマスクを外しています。

障がいのある学生支援を本格的にスタート

獨協大学学生支援連絡会(部会長・岡垣知子副学長)は、2021年12月、『障がいのある学生支援ハンドブック』を発行、本学ホームページに「障がいのある学生支援」のサイトを新設した。ともに支援の申請方法や、支援の例、就職活動のアドバイス等を紹介している。

2021年5月設置の学生支援連絡会は、6月に「障がいのある学生等の支援ニーズ把握のためのアンケート調査」を実施、学生がより支援を求めやすい体制の整備を進めてきた。

ハンドブックは学生課をはじめ、教務課、キャリアセンター、保健センター、カウンセリング・センターで配布。「障がいのある学生支援」サイト(大学HP→学生生活→障がいのある学生支援)、PorTall「ダウンロードセンター」→「学生生活」→「相談・ハラスメント」にも掲載している。



障がいのある学生支援サイト



仕事の現場から

Vol.16

卒業生に
仕事についての喜びや、
獨大生に向けてのメッセージを
語っていただきます。

夢中になる力が、苦手も得意に、 夢を現実に変えてくれる。



羽田空港航空管制官
北川 翔 さん(19年交卒)



私の職業である航空管制官は、航空機が効率よく安全に航行できるように空の交通整理を行うことで、具体的には3種類の業務があります。飛行場を中心に半径9km、高度9000m圏内を飛行する航空機に対する離着陸の許可、滑走路上の安全確保などを目視で行なう「飛行場管制業務」、空港から約100km圏内の航空機を扱う「ターミナル・レーダー管制業務」、そして航空路と呼ばれる空の道を巡航中の航空機を

主に担当する「航空路管制業務」です。

私の担当は東京国際空港、通称、羽田空港での飛行場管制業務です。羽田空港は4本の滑走路を抱え、日本でも最大の交通量を誇る空港です。ピーク時には1時間で90機、40秒に1機というハイペースで離着陸が行なわれております。

私がこの職業を志したのは高校2年生の時。修学旅行で初めて航空機に乗り、その魅力に触れました。その時放映されていた羽田空港の管制官をモデルにしたドラマが好きだった私は実際に航空機を見て、それに関わり、英語を操って働く航空管制官の姿に強く憧れました。

実際に働いてみると航空管制官の業務は責任が重く、日々努力が求められます。最初は目視で航空機の距離を測るのも難しく、空港によって異なる、様々なルールを覚えることも大変でした。また、仕事は毎日気が抜けません。不測の事態が発生した時にも臨機応変に落ち着いて対応することが求められます。安全を守りながら効率的な運航を支えることができるよう、日々シミュレータなどを用いて訓練も行い、技量の維持、向上に努めています。

たくさんの命を預かる大変な仕事ですが、私がこの仕事に就けたのも、獨協大学に進学したからこそです。実は管制官を夢見たばかりの頃は、英語が大の苦手でした。「将来使う予定もないし

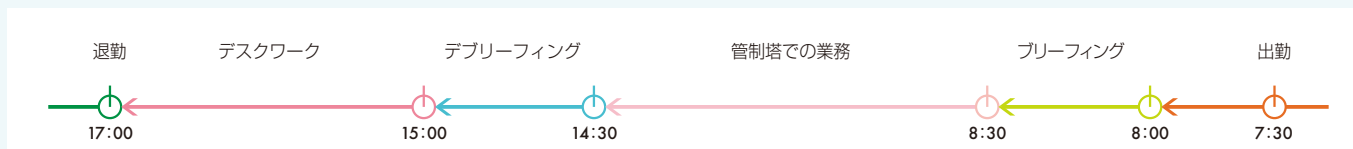
勉強しなくてもいいだろう」とまで考えていたほどです。しかし夢を抱いたことで一念発起、猛勉強して大学へ合格しました。この大学を選んだことは大正解だったと感じています。

英語のレベルが高い学生や留学生も多く、学習環境にも恵まれた大学で過ごした4年間は、私の英語のレベルを大きく高めてくれました。ゼミでの研究やアルバイト、友人や先生との関わり、趣味の旅行など、大学時代には多くの経験をし、視野を広げることができました。紙の地図だけを持って一人で海外旅行に行ったこともあります。それも国際色豊かな獨協大学で英語を学び、様々な文化に触れていたからできたことです。当時の経験は、私の仕事や人生に大きく影響しています。

どうか在学生の皆さんも、いろいろなことに取り組んで視野を広げながら、全力で打ち込めるものを見つけてほしいと思います。私の周りを見ても、全力で何かに取り組み人は、人生を楽しんでいます。趣味でも勉強でも、熱中できる何かを見つけて楽しい大学生活を送ってください。



北川さんのある一日のタイムスケジュール



※マスクを外している写真は全て管制運用室外において撮影

第49回学生懸賞論文審査結果

2021年度の第49回学生懸賞論文には、20編の応募がありました。審査委員会での協議の結果、優秀賞1編が選定されました。

■最優秀賞 該当なし

■優秀賞 1編

「サードカルチャーキッズの「移動本能」に関する批判的考察 — 居場所への安心感に着目して —

国際教養学部言語文化学科3年 参田 沙良

■審査員奨励賞 該当なし

審査講評

2021年度の第49回学生懸賞論文は、9つのテーマに合計20本の応募があった。まずは第一次審査として審査委員4名で分担査読した。次いで、第一次審査を通過した4本の論文につき、第二次審査として、今度は全審査委員で査読した後、各賞を審議した。

本年度の応募に際し、審査委員会では著作権法遵守を重視し、「学生懸賞論文応募要項」に以下を掲載した。

- ・著作権法を遵守すること。
- ・必ず自身の言葉で論述を行い、他人の言葉は引用として処理すること。
- ・参考文献・資料から引用する場合、以下の諸点に留意すること。
 - (1) 他人の著作物を引用する必然性があること。
 - (2) 他人の著作物の引用箇所には かぎ括弧をつけるなど、自分の著作物と引用部分が区別されていること。
 - (3) 自分の著作物と引用する著作物との主従関係が明確であること(自分の著作物が主体)。
 - (4) 出所の明示がなされていること。
 - (5) 引用部分は一字一句正確に記し、勝手な改変を行わないこと。

「他人の言葉は引用として処理」しなければならないとし、その際の「留意」点を列挙したものであるが、とりわけ「他人の著作物の引用箇所にはかぎ括弧をつけるなど、自分の著作物と引用部分が区別されていること。」との要請は、ほとんどの応募論文において遵守されていなかった。その多くは、他人の著作物の内容を、かぎ括弧をつけるなどせずに本文に記載し、脚注で参考文献を明示する形にとどまっていた。

問題は、参考文献を明示せずに、他人の著作物の内容を本文中に貼り付けてしまっているケースである。審査委員会は査読の過程で、次のような2つの事例を 発見/認識した。

事例1 テーマとした市町村の現状を記述した箇所が、当該市町村のwebページのほぼ丸写しであり、自身による分析とは言えなかった。同様の傾向は、それに続く図表の分析にも認められた。

事例2 某省庁がHP上で公開している参考資料と、記述が一語一句完全に一致した。論文内の該当箇所では出典も示されておらず、引用符も使用されていなかったため、これは剽窃と判断した。他にも数か所に同様の剽窃行為が見られた。

今回の応募論文20本のうち、明確な剽窃行為が見られたものが、我々審査委員が発見したもののだけで2本あった。これはやはり由々しき事態である。審査委員会が剽窃行為に気付かず顕彰してしまい、それが外部の人の目に触れた場合、場合によっては獨協大学の信用を大きく傷つけてしまう結果にもなりかねない。

優秀賞の論文は、「母国から離れ異国の地で育つ子ども(=サードカルチャーキッズ;以下 TCK)には「移動本能」という特徴が存在し、その移動本能は「TCKの落ち着きのなさから来る」というポロック・リーケンの見解に、自らもTCKである論文著者が違和感を覚え、「落ち着きを求めて新たな場所へ移動をするのではなく、実際はすでにTCKが自分の居場所を見つけているからこそ、安心して新しい国や地域へと移動し続けようと思えるのではないだろうか」との仮説を立て、その検証を、10歳未満で海外移住を体験したTCK4名へのインタビュー調査を通じて試みたものである。経験に裏付けられた自らの直感から出て来た疑問を、文献のみに頼ることなく、インタビュー調査という「自らの足でかせいだデータ収集」を通じて解決していこうというその姿勢は、賞賛に値するものであり、借りものでない血の通った問題意識と議論には委員からの高い評価があった。しかしながら、論文の結論の持つ意義への多少の疑問、インタビュー調査の結果のとりまとめ方の不十分さ、等々の消極的な意見も出され、最終的には、各審査委員の個別意見をとりまとめ、「優秀賞」との結論に至った。

他にも着眼点が面白い論文が多く見られた。引用のルールを守り、論文の書き方をしっかり勉強すれば、いずれも質の高い論文となる可能性が高い。テーマ、内容、そして論文作成上のルールをしっかり守り、論文作成に挑んでいただければ幸いである。

第49回学生懸賞論文審査委員

委員長 内倉 滋(経済学部教授)

委員 尾玉 剛士(外国語学部准教授)

委員 堀川 宏(国際教養学部専任講師)

委員 木村 雪乃(法学部専任講師)

●優秀賞 サードカルチャーキッズの「移動本能」に関する批判的考察 — 居場所への安心感に着目して —



言語文化学科3年
さんだ さら
参田 沙良

現代、移動社会の到来と共に海外に移住する人々が増加している。幼少期に両親の文化圏の外で過ごす子供たちを「サードカルチャーキッズ(TCK)」と呼ぶ。『サードカルチャーキッズ多文化の間で生きる子どもたち』の著者であるポロックら(2010)は、TCKはいくつの特徴を有していると示しており、その一つに「移動本能」というものを挙げている。「移動本能」とはTCKを一か所に住み続けさせることを難しくさせ、別の場所へと移動を繰り返させる衝動を意味す

る。これは、「どこかに自分にとっての居場所が存在する」と探し求める内的な落ち着きのなさが原因であると考えられている。

しかし、本稿ではTCKには「すでに自分にとっての居場所を見つけているという安心感」から移動本能が生じるのではないかという仮説を立てた。本稿ではTCKが誕生する背景や「居場所」の定義を整理したうえで、インタビュー調査を用いてTCKの移動本能が形成される理由を考察した。



本箱

本学の先生方が執筆された
新刊情報

Books column

網谷 壮介(法律学科専任講師)分担執筆

『よくわかる政治思想』

ミネルヴァ書房 2021年4月 2800円



古代から現代までの主要な思想家、重要なキーワード、日本人思想家という3つの方向から政治思想を読み解く入門書。通史的に理解しつつ各項目も学べる一冊になっています。

市原 博(経済学科教授)分担執筆

『社会経済史学事典』

丸善出版 2021年6月 22000円



社会経済史学は人類の活動全般に関わり、歴史学や人文学とも結びつきます。国を超えた技術や文明、生活の変化、人々の交流と交易など、様々な視点から書かれた研究でその歴史を解き明かします。

佐藤 唯行(英語学科教授)著

『英国ユダヤ人の歴史』

幻冬舎 2021年7月 840円



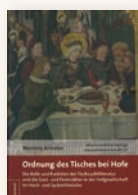
キリスト教の誕生以来、迫害に耐えて生き抜いたヨーロッパのユダヤ人たち。中でも英国では、銀行業を開業し、大財閥へと成長させました。英国の盛衰にも関わった彼らの足跡をたどる一冊です。

有信 真美菜(ドイツ語学科非常勤講師)著

『Ordnung des Tisches bei Hofe』

: Die Rolle und die Funktion der Tischzuchtliteratur und die Gast- und Festmähler in der Hofgesellschaft in Hoch- und Spätmittelalter]

Teccum Verlag 2021年8月 68€



本書は筆者がドイツの大学に提出した博士論文を出版したものです。上流階級(王様や貴族)の社会で、公的な会食が持っていた社会的な役割と、そこで求められた広義でのテーブルマナー、そして当時の人々の食事に対する意識を様々な資料を使って分析した一冊です。

堀 晋也(フランス語学科非常勤講師)訳

『CEFRの理念と現実 現実編 教育現場へのインパクト』

くろしお出版 2021年8月 3000円

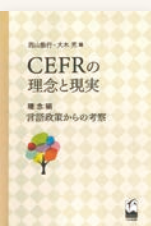


CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)は日本の教育現場でいかに受け入れられ、運用されているのでしょうか。その運用の問題点と改善点について、各種論文などから検討・再考します。

堀 晋也(フランス語学科非常勤講師)訳

『CEFRの理念と現実 理念編 言語政策からの考察』

くろしお出版 2021年8月 3000円



日本で無批判に受容されているCEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)。果たしてこの教育法の日本での取り入れ方に問題はないのか、その基本的な理念などから見直します。

田中 善英(フランス語学科教授)著

『1日5題文法ドリル つぶやきのフランス語』

白水社 2021年9月 1900円



日常生活でも使えるフランス語の練習問題を、合計1500題収録した問題集。学習者の理解を助けるワンポイント解説も満載で、基本的な文法事項をわかりやすくカバーしてくれます。

明田川 聡士(言語文化学科専任講師)訳
(黄 崇凱 著)

『冥王星より遠いところ』

書肆侃侃房 2021年9月 1900円

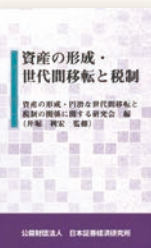


病院で母の介護をする青年と、小説家志望で妻子持ちの高校教師、互いが互いの人生を夢に見て、小説に書き、病室と実家を行き来する…。台湾での尊厳死問題を示唆する、筆者の長編デビュー作。

野村 容康(経済学部教授)分担執筆

『資産の形成・世代間移転と税制』

日本証券経済研究所 2021年9月 2500円



個人にも社会にも重要な「資産形成」と「次代への継承」の問題に関する研究をまとめた研究書。実証分析を含めた包括的な調査に基づいて、実践的な分析と提言が行なわれています。

大谷 基道(総合政策学科教授)分担執筆

『テキストブック 地方自治 第3版』

東洋経済新報社 2021年9月 2800円



地方自治の基本、中央と地方の政治行政のかかわりなどを解説する大学向けテキストの第3版。危機管理と災害対応、情報化対応など、地方が抱える新たな問題にも章を割いています。

犬井 正(名誉教授)著

『山林と平地林 ー 関東における林野利用の展開ー』

テイハン 2021年9月 4400円



国土の3分の2を占める山林や原野。合わせて林野と呼ぶこの土地の利用法について、関東をモデルに、地理学や歴史学、民俗学などの観点から調べ、再利用の道を探る一冊です。

大谷 基道(総合政策学科教授)共著

『現場のリアルな悩みを解決する! 職員減少時代の自治体人事戦略』

ぎょうせい 2021年10月 2200円



時間外勤務や、若手の離職、テレワーク導入の障害、メンタル不調の増加など、悩みが尽きない自治体の人事に、先進事例を紹介しつつトータルな戦略を提案する一冊。

■ 獨協大学ニュース「本箱」欄に掲載する新刊情報をお寄せください。

本学教職員(非常勤講師含む)が執筆した単著・共著・分担執筆・監修・翻訳書などの新刊情報を募集しています。なお、価格は税抜表記としております。新刊がありましたら、中央棟2階総合企画課までご持参ください。表紙撮影後、返却いたします。

第55回卒業式、第44回学位記授与式

今年度は、学部を指定して2部制で举行します。また、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として式典の参加は卒業生・修了生のみとします。当日は式典の様子をライブ配信する予定です。

📅 3月20日(日)

📍 獨協大学35周年記念館アリーナ

- ・第1部 式典時間 10:00~10:45(予定) 外国語学部・法学部
- ・第2部 式典時間 15:00~15:45(予定) 国際教養学部・経済学部・大学院

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の状況によって、式典を縮小または中止とする可能性があります。変更等は決まり次第、ホームページ及びPorTaIIにてご案内致します。※学内で着物レンタルを希望する場合は、獨協大学同窓会(TEL:048-941-6865)までお問い合わせください。



昨年度の様子

表紙の紹介

本号表紙は、35周年記念館アリーナで1月10日に行われる、埼玉県草加市の新成人の集いの様子を表しています。建物1階には正面入口左側に体育館アリーナ、右側にコンビニエンスストア、文具や本、雑誌等を扱う店ぶっくぎゃらりいDUO(デュオ)、専門学校や自動車教習所の申込、アパート紹介を行うサービスポットDUOを設置。

2階には収容人数約1,350名の学生食堂や小講堂があります。学生生活や式典に欠かせない多目的施設となっています。



Illustration : Junichi Kishi

ぶらりらいぶらり Vol. 101

就職活動 = データベース活用

図書館では就職活動に役立つ資料を揃えています。中でもいくつかのデータベースは就職活動におススメ「使い方がイマイチわからなくて…」という方、レファレンスカウンターにご相談ください。



よし！
就活頑張るぞ。

●データベースって？

論文や雑誌記事、新聞記事の情報をオンラインで提供するもの。

●就活に使えるデータベースは？

①新聞

- 『日経テレコン21』(日経各紙)
- 『聞蔵IIビジュアル』(朝日新聞)
- 『ヨミダス歴史館』(読売新聞) など

新聞の記事からどんな情報が得られるの？

- ・企業の動向
⇒気になる企業については過去3~5年分の記事を読もう！
- ・就活に特化したコラムもあります。
例えばヨミダス歴史館(読売新聞)では、「就活ON!私のES(エントリーシート)」など
- ・時事問題対策

●使い方を教えて！

総合レファレンスカウンターにいらしてください。
データベースの使い方、企業情報の探し方、レポートの相談にも乗りますよ。

②企業情報

- 『東洋経済デジタルコンテンツライブラリー』
- 【会社情報】 会社四季報
- 【就職情報】 就職四季報、就職四季報女子版

『eol企業情報データベース』

有価証券報告書
⇒ 財務諸表、経営方針、事業等のリスク

③記事

- 『日経BP記事検索サービス 大学版』
- 日経BP社が発行する雑誌の記事
例えば『日経ビジネス』『日経WOMAN』『日経トップリーダー』の記事



総合レファレンスカウンター(1階)

New!

ドイツ発

『Statista(スタティスタ)』

世界の市場調査データ・統計のデータベース

【収録データ】

- ・一般公開データ
各国のマクロ統計など、出所: UN/Worldbank/IMF など
- ・特約機関のデータ
GfK/Kntar/三菱総合研究所 など
- ・Statista 独自調査・分析データ

Google のように、
キーワード(英語、ドイツ語など)を入力



データベースは
VPN接続で自宅からも
使えるよ〜



編集	総合企画部(中央棟2階) TEL048-946-1635 kouhou@stf.dokkyo.ac.jp
学生記者	跡部 雄太郎(総2年) 池下 奈穂ヴェレーナ(独2年) 伊藤 あす美(関3年) 遠藤 夏乃(済3年)
[五十音順]	岡田 陽依(英1年) 尾木 草輔(律2年) 柿沼 伶(交2年) 小林 優麻(律4年)
	斉藤 駿斗(律1年) 杉田 慶一郎(律3年) 鈴木 綾夏(英3年) 高橋 弘行(済3年)
	張 政(英3年) 長橋 すず音(言2年) 初澤 汐里(独4年) 原 友里恵(英1年)
	藤岡 希(英3年) 古田 千夏(独4年) 古谷 一真(交1年) 堀口 太陽(英3年)
	村井 ひかり(独2年) 吉見 麻菜(済2年)